

## 宮永 愛子「そらみみのおすそわけ」展のご案内

日時：2011年11月3日(木・祝) - 11月6日(日) 18:00-20:00

会場：CAPSULE 東京都世田谷区池尻 2-7-12

— 秋の夜長に、耳を澄まして「聞く」展覧会 —



[ 図版 1 ] そらみみみそら／陶、釉／写真：畠山崇／(c)MIYANAGA Aiko／Courtesy Mizuma Art Gallery

この度、三宿のアート・スペース CAPSULE では、2011年11月3日(木・祝) から6日(日) までの4日間、宮永 愛子「そらみみのおすそわけ」展を開催します。本展では、制作後間もない宮永 愛子の作品『そらみみみそら』を所蔵する3名が、それぞれの作品を持ち寄り、皆さんと共にひとときの間その音色を共有します。会期中は、毎日18時から20時までの2時間、人数限定の空間にすることで音と作品をゆっくりと鑑賞できます。

ナフタリンや塩などの素材を使用し、ものが持つ記憶や物語を紡ぎだすアーティストとして知られる宮永 愛子ですが、歴史ある京都の陶芸家の家系に育った彼女は、伝統的な陶芸の手法や素材も多く作品に取り入れます。器に塗る釉薬の調合により、窯場から出された後も、器が冷えるにつれてその表面にヒビが入る「貫入」が起こり、澄み渡った音を放つ『そらみみみそら』。薄いガラスがそっと触れ合うようなかすかな音は、私たちの耳に届けられる一瞬のうちに再び静粛のなかへと戻り、その記憶をたぐりよせようと意識を傾けると、またどこかで慎ましい響きを奏でます。やがて音は少しずつ変化しながらも、決して消え入ることなくそこにあり続け、私たちに繰り返すその存在を知らせるのです。

一人では聞き逃してしまうかもしれないかすかな音を、他の誰かが聞き取ることで、器の演奏は無限に広がりを見せることでしょう。秋の夜長と共に、ぜひその共演をお楽しみください。



[図版 2]  
夜に降る景色 - 時計 - / 2010 / ナフタリン、ミクストメディア /  
22.4x30.5x19cm / 写真：宮島径 / (c) MIYANAGA Aiko /  
Courtesy Mizuma Art Gallery



[図版 3]  
景色のはじまり / 2011 / 金木屋の剪定葉6万枚、ミクストメディア /  
380x1,500cm / 写真：宮島径 / (c) MIYANAGA Aiko /  
Courtesy Mizuma Art Gallery

## アーティスト紹介



撮影：新井貴

### 宮永 愛子 / みやなが あいこ (1974年京都市生まれ)

2008年東京芸術大学美術学部先端芸術表現専攻修士課程修了。ナフタリンや塩などの変化する素材を使用し、鍵や靴、服など、ものや場所の持つ物語を表出させる。

主な展覧会に、「景色のはじまり - 金木屋 -」(2011年 / ミヅマアートギャラリー)、「MASKED PORTRAIT II」(2011年 / Marianne Boesky Gallery)、「あいちトリエンナーレ」(2010年 / 愛知芸術センター) などがある。

## 展覧会概要

- 宮永 愛子「そらみみのおすそわけ」展のご案内
- 会期： 2011年11月3日(木・祝) - 11月6日(土)の4日間 18:00-20:00 \*入場無料
- 会場： CAPSULE 東京都世田谷区池尻2-7-12 (<http://www.capsule-gallery.jp/>)
- 協力： ミヅマアートギャラリー
- 企画： 堀内奈穂子 (AIT)

\*会期中の開廊時間は、18:00-20:00の2時間です。ご注意ください。  
また、鑑賞は、一度に5名のみとなります。  
順番待ちの際には、ギャラリー併設のカフェSUNDAYにてお待ちください。  
\*ご予約の受け付けはいたしません。直接会場へお越しください。



展覧会に関するお問い合わせ

NPO 法人アーツイニシアティブトウキョウ [AIT/ エイト] 担当：堀内 Tel: 03-5489-7277